

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	B-1(測点No.10+2/L4.5)		調査位置			北緯	36° 49' 46.2500"			
発注機関	栃木県日光土木事務所 河川砂防部				調査期間	2008-01-15 ~ 2008-01-18		東経	139° 42' 55.1000"	
調査業者名				主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	387.77 m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機	ハンマー
総掘進長	8.00 m								エンジン	ポンプ

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位(m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験	掘進月日		
												深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数 ／ 貫入量 (cm)	深度	試験名および結果	深度	試料番号			採取方法	
													0	10	20									
(m)	(m)	(m)	(m)									(m)			(m)									
1					盛土 (BS)	暗灰 ~ 暗褐		中位	0.30mまで舗装 アスファルト版厚0.05m 0.05 ~ 0.30m間、砕石 以深、礫混じりシルト 所々に径 10 ~ 70mm程度の礫混入 希にコア長30 ~ 40mmの粗礫・粗石混入			1.15	2	1	2	5								
2												1.45	13	7	2	30								
3	385.07	2.70	2.70		粗石混じり砂礫 (GS)	暗褐 ~ 暗灰		非常に密な	径 10 ~ 50mmの垂円・歪角礫主体 マトリックス(礫間充填物)は中 ~ 粗砂 所々にコア長50 ~ 150mm程度の粗石・巨石混入 4.20m以深、粗石・巨石密集(コア長50 ~ 200mm) 孔壁の自立性やや低い			2.15				4								
4												2.45	1	1	2	30								
5												3.05	50	1		50	1							
6												3.06						>50					01/15	
7												4.15	50	5		50	5							
8												4.20						>50						
9												5.10	50	5		50	5							
10												5.15						>50					01/16	
11	382.17	2.90	5.60		流紋岩 (Ry)	灰褐			全体的にやや凝灰質を呈す 上部6.00mまで弱風化しやや粘土化を呈す 以深、コアは片状・短柱状で50 ~ 100mm程度主体 全体的にコアは弱風化し灰褐色を帯びている コアはクラックは多いが比較的密着している クラックは主に50 ~ 70°程度の斜状が多く部分的に水平クラックがみられる クラック面は風化し暗褐色を呈す ダイヤモンドビットにより掘削可能 コア採取率は100% RQDは10 ~ 30%(最大長160mm) 岩は C M クラスと判定			6.00	50	1		50	1							
12												6.01						>50						
13												7.00	50	1		50	1							
14												7.01						>50						
15												8.00	50	0		50	0							
16	379.77	2.40	8.00									8.00						>50					01/17	